

企業訪問 循環型最前線レポート

サンコーリサイクル（株）

「水と大地の自然への還元」

を目指す

サンコーリサイクル（株）



社屋

サンコーリサイクル株式会社

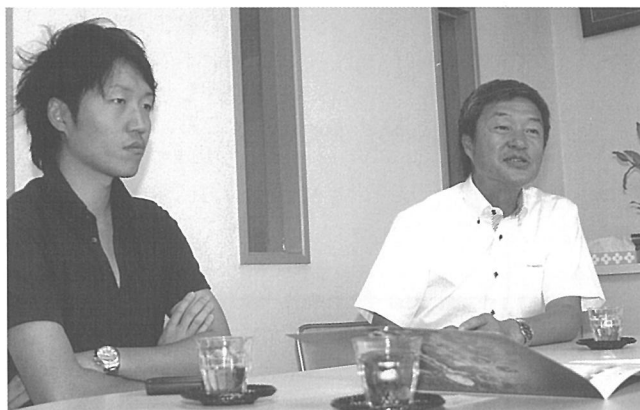
■代表者／金田 英和

■所在地／愛知県東海市浅山3丁目190番地

TEL：(052) 601-8883 FAX：(052) 601-8863

<http://sanko-re.co.jp>

「子どもたちの未来のために、人々が作り出した廃棄物を、私たちの水と大地への還元を目指す」をスローガンに、日々環境事業に取り組むサンコーリサイクルの代表取締役 金田英和氏と今年常務取締役になった金田 琳氏にお話を伺いました。



汚染土壌処理の熱い想いを語る金田 琳常務（左）と金田英和社長（右）

「弊社は平成4年の廃掃法改正をきっかけに、平成5年に設立をしました。設立3年目くらいから受注が増え始め、現在では大手ゼネコンから信頼され仕事の依頼をいただいています。また、今年の1月には汚染土壌処理業の許可も取得しました。汚染土壌処理プラントでは、自然由来、特定施設跡地、建築・土木工事などで形質変更する際に、土壌内に含まれる有害物質（重金属）を完全洗浄除去します。処理能力は30t/時（240t/日）です。処理後きれいになった砂は質が良く、バージン製品より安価で販売し、ご好評をいただいています。もう一つ環境への取り組みとして、場内での重機や運搬車両の燃料は、軽油から食用油をリサイクルしたバイオディーゼル燃料（BDF）に替えCO₂排出量を0（ゼロ）にしました。」と金田英和社長は話しました。

汚染土壌処理業許可申請を準備段階から担当をしてきた金田 琳常務は「行政書士などに依頼せず、自分たちで取り組んできたことで、営業での質問等に即答でき大変役に立っています。この汚染土壌処理業許可施設数は、全国でも88件しか取得してお

らず、愛知県では弊社を含めて4社です。土壤汚染対策法改正後、新規に取得したのは弊社だけなので大変厳しく、詳細な書類内容を求められました。今後は関西や関東への進出を視野に入れ、少数精鋭の営業スタッフで頑張っています。

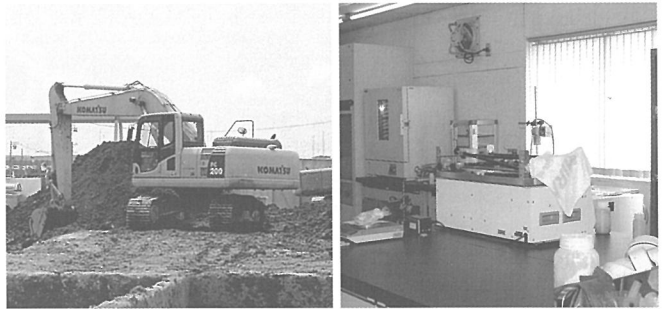
この汚染土壌処理業を始めたきっかけは、汚泥処理をやってきた会社だからこそ発想でした。汚泥処理をやっているから土壌の含水量が多くても処理可能という柔軟な発想です。

弊社は産業廃棄物処理と汚染土壌処理が2本柱であり、汚染土壌処理施設と汚泥処理施設のプラントが完全に独立しており、汚泥と汚染土が混じることがないためリサイクル製品の質も良いものになっています。

また、今年（一社）汚染土壌処理業協会にも入会しました。まだ法律が新しいため、同じ処理業者の仲間と勉強をし、適正処理推進を行なう協会に入り、研鑽を積んでいきたいと思っています。」と今後の抱負も含めて話をいただきました。

事務所でお話を伺った後、金田常務の案内でプラントを見学しました。

「汚染土壌処理施設では、現場から運び込まれた汚染土壌を水で洗浄しながら、礫（40mm以上）、砂利（40mm～5mm）、砂（5～0.075mm）に分別します。それ以外の泥水（0.074mm以下）は、処理する重金属の物質ごとに自動的に薬品を添加し、重金属を化合物とする事でフロック状の沈殿物にします。急速沈殿装置等を経由し、最終的にフィ



ルタープレスで脱水をし、脱水ケーキの中に重金属を閉じ込めます。その脱水ケーキはセメント工場へ運搬し、セメント原料として再生処理されます。特徴としては、高含水から低含水の汚染土壌が処理できる施設となっています。

汚泥処理施設では、建設工事から発生する建設汚泥と無機性汚泥の処理を行っています。許可施設は分級・脱水施設と造粒固化施設の2種類があり、汚泥の性状によって処理方法を選択し、より安全でリサイクル率の高い処理が可能となっています。

また、分析室を完備しており、搬入された汚泥やプラント内の水質を確認し、リサイクル製品の品質管理を徹底し、安心できるリサイクル処理を実現しています。

これらの施設と20年に渡る実績とノウハウを生かし、社員一同が向上心を持って多くのお客様に信頼をいただけるよう頑張っています。」と熱く語ってくれました。

環境事業に取り組むサンコーリサイクル（株）では、CSRの一環として名古屋市東山動植物園“動物スポンサー”にもなっています。「動物スポンサーとは、東山動植物園が東山動植物園再生プランの推進にあたり、企業から動植物園の企画や運営等に広く参画するために募集した企画で、エサ代等を参考にスポンサー料を支払います。弊社はコアラのスポンサーです（笑）。東山動物園に行くと、弊社の名前入りプレートが掲示されていますよ。」

「水と大地の自然への還元」をスローガンに、さまざまな方面で環境に取り組むサンコーリサイクル（株）の今後の挑戦に期待しています。

